

個別検診受診の場合

各種検診受診時の注意事項については各医療機関の指示に従ってください。

集団検診受診の場合

胃がん検診

- ① 飲食後(ガム・飴・ジュース・コーヒー・紅茶 等含む)8時間以上経っていない方は受診できません。
- ② 血圧の薬を服薬中の方は、検診2時間前までにコップ一杯程度の水または白湯で服用してください。
- ③ 検査当日は禁煙をしてください。
- ④ 胃・十二指腸の疾患で治療中または経過観察中の方は、かかりつけ医療機関で受診してください。
- ⑤ ベルト、ボタン、ファスナー、ホックがない服装で磁気治療具・腹巻・コルセットは外してください。
- ⑥ 呼吸器疾患のある方は誤嚥により症状が悪化する場合があります。

* 以下に該当する方は、集団検診で胃X線検診を受診できません。個別検診で医師にご相談ください。
また、当日の体調や問診等で受診できない場合があります。

胃がん検診安全基準

- ①バリウムや緩下剤で下記のような過敏症(アレルギー症状)がでたことがある。
強い吐き気、腹痛、じんましん、発赤、唇の腫れ、喉がつまる、息苦しい、冷汗、気分不良、顔面が青白くなる
- ②妊娠中または妊娠の可能性がある。
- ③次の基準に該当している方
 - 体重が110kgを超えている。
 - 腹部手術を受けたことがある。
 - 便秘症で、すでに3日以上排便がない。
 - 血圧が収縮期血圧180mmHg、または拡張期血圧が110mmHgを超えている。
 - 現在、腹痛などの腹部症状がある。潰瘍性大腸炎、クローン病で治療中(経過観察中含む)である。
 - 過去1年以内に内視鏡でポリープや粘膜を切除した。
 - 腎臓病(人工透析)などで水分制限を受けている。
 - 過去1年以内に腸閉塞、心筋梗塞、脳梗塞を起こした。またはそれらを繰り返したことがある。
 - 自力で立つことができない、階段の昇降ができない。撮影台の手すりを掴み身体を支えることができない。
 - 食事中よくむせることがある。ものがうまく飲み込めない。
 - 呼吸器疾患等で酸素吸入をしている。
 - 体内埋込型除細動器(ICD)、インスリンポンプ、持続グルコース測定器を装着している。

腹部手術を受けたことがある方へ

腹部手術とは開腹手術・腹腔鏡手術をさします。手術後の癒着によって腸閉塞や腸穿孔などの危険性が、腹部手術をしていない人に比べ高くなると考えられるため、原則受診いただけません。

食道・胃・腸・虫垂(もうちょう)・肝臓・胆のう・すい臓・脾臓・腎臓などの内臓、子宮・卵巣など産婦人科系や前立腺など泌尿器科系の手術も含まれます。

但し、以下の1~3の項目をすべて満たす方で、検診当日にご署名をいただいた場合、胃がん検診を受けることができます。

※「20歳未満に受けた手術」と「出産のための帝王切開」のみリスクの程度を考慮し項目2は緩和できます。

1. 手術後、1年以上経過している。
2. 手術後に胃がん検診(バリウム検査)を受け、何も症状が出なかった。
3. 「手術後は腸管癒着により腸閉塞や腸穿孔のリスクが高い」ことを理解された上で、検査を強く希望している。

次の場合は必ず医療機関を受診してください

- バリウムや緩下剤服用後に過敏症(アレルギー症状)が発現した場合
 - ①強い吐き気、腹痛 ②じんましん、発赤、唇の腫れ、喉がつまる、息苦しい ③気分不良、冷汗、顔色が青白くなる
- 検査翌日夕方までにバリウム便が排出されないまま放置した場合
バリウム便が排出されないまま放置すると、腸が詰まる、腸に穴が開く恐れがあります。

肺がん・結核検診

* 以下に該当する方は、肺がん・結核検診を受診できません。

- ①職場検診で受診する方
- ②妊娠中または妊娠の可能性がある方
- ③現在胸部疾患治療中の方
- ④6ヶ月以内に血痰が出た方
- ⑤3ヶ月以内に胸部検査を受けた方
- ⑥インスリンポンプ及び持続グルコース測定器を装着している方

大腸がん検診

- ①提出日よりさかのぼって5日の間に2回便を採り、それぞれに日付を記入してください。
- ②便の採る量が多すぎる、生理血が混入すると正確な結果が出ないことがあります。
- ③採便後は冷暗所で保管してください。直射日光や高温の場所で保存した場合、正確な結果が出ないことがあります。
- ④1日分の便しか採れなかった場合は、1本のみ提出してください。未使用の容器を提出された場合は、採便してあるものとして検査しますのでご了承ください。

乳がん検診

* 以下に該当する方は、マンモグラフィを受診できません。

- ①妊娠中または妊娠の可能性がある方
- ②心臓ペースメーカー・CVポート・VPシャント・手術時のクリップなど乳房内に異物が入っている方
- ③豊胸手術などで乳房に人工物が入っている方
- ④授乳中の方
- ⑤乳房疾患の治療中または病院で年1回以上の経過観察中の方
- ⑥インスリンポンプ・持続グルコース測定器を装着している方

子宮頸部がん検診

- * 生理中の方へ
再検査になる可能性がありますので生理中を避けていただくことが望ましいです。
- * 少し出血する場合があります
出血は1~2日程度で止まりますので心配はありません。
出血が何日も続く場合は医療機関を受診してください。
- * 脱ぎ着しやすい服装(ゆったりしたスカートなど)でお越しください。

X線検査受診時の服装について(胃がん、肺がん・結核検診、マンモグラフィ共通)

- 無地のTシャツ等薄い服1枚であればかまいません。
(服の襟、ボタン、ファスナー、ホックなどの金具がついていないもの)
 - ブラジャー、ネックレス、ベルト、腹巻き、コルセット、湿布、磁気治療具等は外してください。
 - 長い髪は束ね、肩にかからない程度に上げてください。
- ※胃がん検診、肺がん・結核検診では男女が同一検診車で撮影します。男女の区別をしながらご案内をする関係で順番が前後する可能性があります。ご了承ください。